

東芝 CD ラジオカセットレコーダー 取扱説明書

形名

TY-CDS6



- 日本国内専用
Use only in Japan
- このたびは CD ラジオカセットレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要とすときに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

- 保証書はこの取扱説明書に付いていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

002

持込修理品		東芝CD ラジオカセットレコーダー保証書	
形名	TY-CDS6	※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。	
お名前	ふりがな	※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。	
お客様	〒□□□-□□□□	1年	
住所	市外 市内 番号 呼	★お買い上げ日	
保証期間	本	□年 □月 □日から	
販売店	住所・店名	電話	
東芝エリートレーディング株式会社 〒110-0015 東京都台東区東上野2-21-10（東芝上野ビル）			
本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。			
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。			
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。			
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。			
1.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。			
(イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。			
(ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。			
(ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、増害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。			
(ニ) 本書のご提示がない場合。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきますので、ご了承ください。</p> <p>・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。</p> </div>			
東芝エリートレーディング株式会社 〒110-0015 東京都台東区東上野2-21-10（東芝上野ビル）			

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明		
 警告	“死亡または重傷を負うことが想定されること”を示します。	 注意
 禁止	してはいけないこと（禁止）を示します。	 指示
 禁止	しなければならないこと（指示）を示します。	

もし異常が起これたら

 警告	<ul style="list-style-type: none">異常・故障時には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く（異常・故障例） 煙が出たり、異常なおいや音がある ・内部に水や異物が入った 電源プラグが異常に熱い ・電源コードが腐んでいる ・本体に変形や破損した部分がある <p>そのまま使うと火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
---	--

電源コード・電源プラグについて

 警告	<ul style="list-style-type: none">電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む 本機の電源スイッチを切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、プラグを抜き、ゴミやホコリをとる 電源コードを取り扱うときは、次のことを守る <ul style="list-style-type: none">傷つけない ・延長するなど加工しない ・加熱しない ・引っ張らない ・重いものを載せない はさまない ・無理に曲げない ・ねじらない ・束ねない 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く <p>取り扱いを誤ると、感電や発熱による火災の原因となります。</p>
---	--

 禁止	<ul style="list-style-type: none">ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない <p>火災・感電の原因となります。</p>
---	--

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エリートレーディングサポートセンター	
受付時間 0120-28-0488 0120-28-0488 携帯電話・IP電話など 050-3786-0488（通話料：有料） FAX 03-3258-0470（通信料：有料）	<ul style="list-style-type: none">お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）	補修用性能部品の保有期間
<ul style="list-style-type: none">保証書は、この取扱説明書に記載されています。 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。 保証期間はお買い上げの日から1年間です。	<ul style="list-style-type: none">CD ラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは **持込修理品**

本書に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 保証期間中は、……………
- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、……………
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

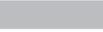
便利メモ お買い上げ日 年 月 日 お買い上げ店名 電話 ()

	<p>長年ご使用の機器の点検をぜひ！</p> <p>このような症状はありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none">●電源コードが腐んでいる ●煙が出る ●変なおいがする ●その他の異常や故障がある	<p>ご使用中 故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。</p>
---	--	--

 注意	<ul style="list-style-type: none">長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く <p>通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化などにより、火災の原因となることがあります。</p>
 禁止	<ul style="list-style-type: none">電源コードは付属のもの以外を使用しない 付属の電源コードを他の機器に使用しない <p>火災・感電の原因となります。</p>

ご使用について

 警告	<ul style="list-style-type: none">持ち運ぶときは、アンテナをたため、電源プラグをコンセントから抜く 落としたり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く <p>取り扱いを誤ると、火災・感電・けがの原因となります。</p>
 禁止	<ul style="list-style-type: none">分解・修理・改造はしない 異物を入れない 雷が鳴り出したら、アンテナ線・電源コードに触れない 通気孔をふさがない <ul style="list-style-type: none">・壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける） ・押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けない ・じゅうたんや布団の上に置かない ・あお向け・横倒し・逆さまにしない <p>火災・感電・事故の原因となります。</p>

 注意	<ul style="list-style-type: none">花瓶など液体の入ったものを本機の上に置かない CD 挿入口に手を入れない 円形ディスク以外は使用しない CDピックアップをのぞき込まない 本機の上ののったり、上に重いものを置いたりしない ヘッドホンの音量を上げすぎない 長時間、音が歪んだ状態に使わない <p>けが・故障・火災などの原因となります。</p>
---	---

設置について

 警告	<ul style="list-style-type: none">次のような場所での使用、設置はしない <ul style="list-style-type: none">・雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気が多い場所 ・雨、きりなどが直接入り込む場所 ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所 ・直射日光の当たる場所、炎天下の車内 ・ホコリの多い場所 ・調理場など油煙や湯気の当たる場所 ・振動の強い場所 ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所 ・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所 ・くらくたの上や細いた所など、不安定な場所 <p>本機の破損・火災・感電の原因となります。</p>
---	--

お願い
☑近くに着いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

故障かな？と思ったとき

症状	原因	処置方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">☑電源プラグが電源端子（AC IN～）からはずれている ☑電源プラグが電源端子（AC IN～）の途中までしか入っていない ☑電源コンセントにプラグが入っていない ☑電池極性間違い（乾電池でお使いの場合） ☑乾電池が消耗している（乾電池でお使いの場合）	<ul style="list-style-type: none">→プラグを確実に差し込む →プラグを奥までしっかり差し込む →コンセントに確実に差し込む →電池を正しく入れる →すべて新しい乾電池に交換する。
音がない	<ul style="list-style-type: none">☑音量レベルが下がっている ☑ヘッドホンが差し込まれている ☑音源切り換えが合っていない	<ul style="list-style-type: none">→音量レベルを調節する →ヘッドホンをはずす →音源切り換えを合わせる

CD プレーヤー部		
再生がはじまらない	<ul style="list-style-type: none">☑CD が裏返しになっている ☑CD が汚れている ☑CD 装着部のレンズが汚れている	<ul style="list-style-type: none">→印刷面を上にして入れる →CD をとりかえる →清掃する
音がとぶ	<ul style="list-style-type: none">☑CD に大きな傷やそりがある ☑振動する場所に設置している ☑CD 装着部のレンズが汚れている	<ul style="list-style-type: none">→CD をとりかえる →振動のない場所に設置する →清掃する
再生が止まる	<ul style="list-style-type: none">☑乾電池で再生中に電源コードをつないだ	<ul style="list-style-type: none">→電源コードを外し、乾電池を取り出してやり直す

テープレコーダー部		
カセットが入らない	<ul style="list-style-type: none">☑カセットの向きが上下逆になっている ☑カセットふたが閉まらない	<ul style="list-style-type: none">→テープの見えている方を上にして入れる →カセットを正しく挿入する
テープが走行しない	<ul style="list-style-type: none">☑カセットの不良 ☑テープが全部巻き取られている	<ul style="list-style-type: none">→カセットをとりかえる →カセットを裏入れ替える
録音ボタンが押せない	<ul style="list-style-type: none">☑ツメの折れたカセットを装着している	<ul style="list-style-type: none">→カセットをとりかえる →録音し直すときは、セロハンテープで誤消去防止穴をふさぐ
録音ボタンがロックできない	<ul style="list-style-type: none">☑カセットの不良	<ul style="list-style-type: none">→カセットをとりかえる
音がとぎれる、音程が狂う	<ul style="list-style-type: none">☑ヘッド部分が汚れている ☑ハイポジションやメタルテープを使っている ☑乾電池が消耗している	<ul style="list-style-type: none">→清掃する →ノーマルテープを使用する →乾電池を交換する
消去が不完全	<ul style="list-style-type: none">☑乾電池が弱い	<ul style="list-style-type: none">→アンテナを調節する

ラジオ部		
雑音が多く聞きづらい	<ul style="list-style-type: none">☑電源雑音の影響を受けている ☑モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ☑電波が弱い	<ul style="list-style-type: none">→電源プラグを差し換えてみる →本機を雑音源から離す →テレビを消す →アンテナを調節する

お願い
☑長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

 注意	<ul style="list-style-type: none">乾電池を取り扱うときは、次のことを守る <ul style="list-style-type: none">・指定以外の乾電池を使わない ・極性表示 ⊕と⊖を間違えて挿入しない ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない ・乾電池に表示されている「使用推奨期間」を過ぎたり、使い切った乾電池は使用しない ・水にぬらしたり、ぬれた手で触れない ・直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない 長時間使わないときは、本機から乾電池を取り出す <p>発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具についた場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。</p>
---	---

免責事項について

- ☑地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ☑取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

著作権について

- ☑あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

CDについて

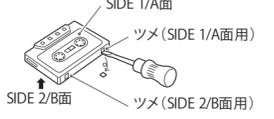
- ☑CD-R、CD-RW ディスクについては、音楽収録規格（CD-DA フォーマット）で記録された一般市販ディスクが再生できます。
- ☑反射率が低いディスクは情報を読み込みぬれ場合があります。
- ☑コピーコントロールCD や特殊形状など規格外のディスクは再生できません。
- ☑CDの再生中はCD ドアを開けないでください。CD を傷つけることがあります。
- ☑CD に傷、指紋、ホコリがついていると、再生できないことがあります。一部再生できた場合でも音がかたんだり、停止することがあります。
- ☑CD 面に紙やシールを貼らないでください。傷芯したり、面擦れして正しく再生できなくなります。
- ☑CD 面に汚れや傷がつかないように大切に扱ってください。必ず専用ケースに入れて保管ください。
- ☑直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。変形して再生できなくなります。
- ☑CD を入れる前に再生面にホコリやゴミ、指紋などが付いていたら、やわらかい布でふき取ってください。
- ☑シンナーやベンジン、アルコールはCDの情報面を劣化させ、読み込みにくくなるので使用しないでください。

カセットテープについて

- ☑ノーマルテープ（TYPE1）をご使用ください。
- ☑ハイポジション（TYPE2）やメタル（TYPE4）テープは再生できますが、その特性を活かすことはできません。また録音すると正しく録音/消去できません。エンドレステープは使用できません。
- ☑100分以上の長時間テープはたいへん薄く、伸びやすいため、機械に巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。
- ☑テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。テープ巻つきなどの原因になります。

大切な録音を消さないために

- ☑カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。
- ☑誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。
- ☑次のような場所には保管しないでください。
 - ・ホコリの多いところ ・磁気の発生するところ。
 - ・高温や湿気が多いところ。



お手入れのしかた

お手入れのときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

テープヘッド部
<ul style="list-style-type: none">☑市販のクリーニングキット（またはクリーニングテープ）のご使用をおすすめします。 ☑市販の綿布や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、テープが触れる面を軽くふいてください。 ☑長い間使っていると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなります。このようなときは、市販の消磁器でヘッドを消磁してください。

CDピックアップ（レンズ）部
<ul style="list-style-type: none">☑はこりなどは、市販のプロワーでレンズを2、3回吹き、ブラシの先でほこりを掃き出します。 ☑指紋などレンズに付いた汚れは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。

本体
<ul style="list-style-type: none">☑柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。 ☑ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

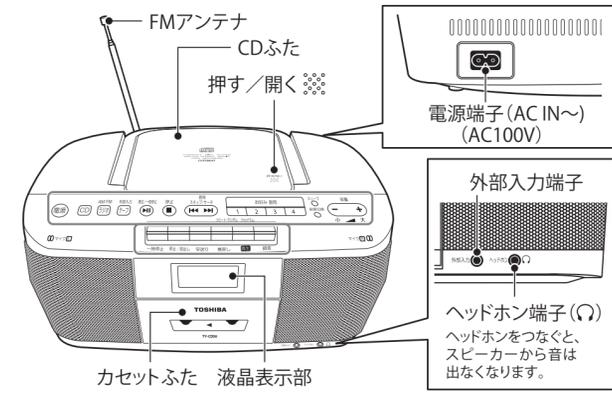
仕様

CD プレーヤー部	チャンネル数	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz	
再生可能ディスク	CD、CD-R/RW（CD-DA フォーマットで記録されたディスク）	
カセットテープレコーダー部	トラック方式	4トラック、2チャンネルステレオ
	録音方式	AC/バイパス
	消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	約120秒（60分テープ片面）	
推奨テープ	コンパクトカセットテープ90分以下	ノーマルテープ TYPE1
ラジオ部	受信周波数（＊）	AM：531kHz～1,629kHz FM：76.0MHz～90.0MHz
共通部	最大最大出力（＊）	1.7W＋1.7W
	スピーカー（＊）	8cm×2
	ヘッドホン出力端子	3.5φステレオミニジャック
	外部入力端子	
電池持続時間（＊）	TOSHIBA 単2形アルカリ乾電池使用時	
	ラジオ受信時：約30時間	テープ再生時：約25時間
	CD再生時：約15時間	
	電源（＊）	AC 100V、50/60Hz DC 9V、単立乾電池×6本（別売）
	消費電力（＊）	12W
最大外形寸法（＊）	質量（＊）	315（幅）×140（高さ）×216（奥行）mm（ボタン・FMアンテナ部の突起・ハンドル含まず）
	付属品	電源コード、取扱説明書（保証書付）

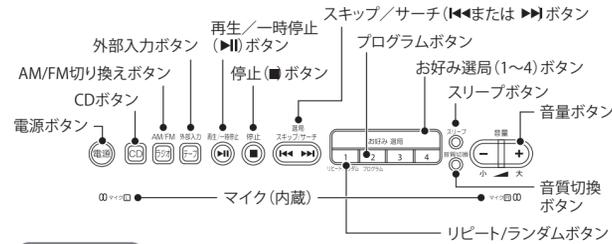
仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
（＊）印は（社）電子情報技術産業協会の定める「JEITA規格」による測定値。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

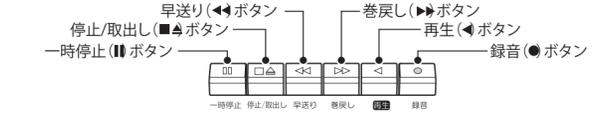
各部のなまえ



CD・ラジオ操作部



テープ操作部



電源について

家庭用電源 (AC100V) で使うとき

1 付属の電源コードの供給プラグを背面の電源端子 (AC IN~) の奥までしっかり差し込む

※電源供給プラグが途中でましか入っていないと、プラグが抜けやすくなったり、電源が入らないことがありますので、プラグは必ず奥までしっかり差し込んでください。

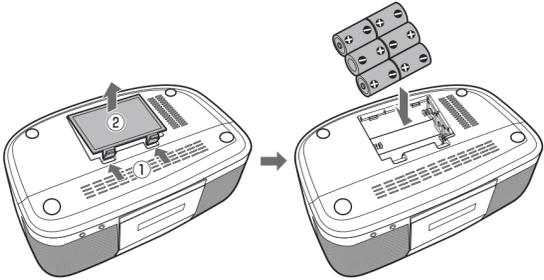
2 電源プラグを家庭用電源 (AC100V) のコンセントへしっかり差し込む

お願い

☑電源プラグを抜き差しするときは、電源を切ってから行ってください。

乾電池 (別売り) で使うとき

電池ふたのツメ (2カ所) を押しながら (1) 持ち上げて開け (2)、別売の単2形乾電池6本を図のように入れてふたを閉めます。



☑極性 (+ と -) を正しく入れてください。
 ☑電源コードが電源端子に接続されていると、家庭用電源が優先して働きます。乾電池で使うときは、電源コードを外してください。
 ☑長期間 (1カ月以上) 使用しない場合や家庭用電源で使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の交換時期は…

☑乾電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、CDやテープが正常に動作しない、などの現象が生じます。

お願い

☑近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

共通操作について

ボタンの押しかたについて

☒押し…短く押し放すことです。(2秒未満) ●長押し…長く押し続けることです。(2秒以上)

電源を入れる	<p>電源ボタンを押す</p> <p>電源が入ります。</p> <p>初めて電源を入れると、液晶表示部に“Cd”と“- - - -”が表示され、“- - - -”が点滅します。</p> <p>・2回目からは、最後に使ったモード (Cd / AM / FM / TAPE / LINE) が表示されます。最後に使ったモードがAMまたはFMの場合は、最後に設定した放送局を受信して再生します。</p>
音量を調節する	<p>音量ボタンを押す</p> <p>・音量は00から31まで調節できます。</p>
音質を切り換える	<p>音質ボタンを押す</p> <p>・押すごとに、音質がFLAT → ROCK → JAZZ → CLASSIC → FLAT…と切り換わります。</p>
ヘッドホンで聴く	<p>ヘッドホン端子のステレオヘッドホン (3.5φ別売) を前面のヘッドホン端子 () に接続する</p> <p>・ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。</p>
スリープ機能を使う	<p>スリープボタンを押す</p> <p>設定した時間がたつと電源が切れます。</p> <p>・押すごとに、設定時間が、120分 → 90分 → 60分 → 30分 → 15分 → OFF → 120分…と切り換わります。</p> <p>・設定後、2秒で元の表示に戻ります。</p> <p>・スリープ設定中は、液晶表示の“SLEEP”が点灯します。</p> <p>・スリープ設定中に音質ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が確認できます。</p> <p>お願い ☑テープモードでスリープ機能を使用する場合は、テープの片道再生時間より長いスリープ時間を設定してください (例: 90分テープ (片道45分) の場合は、スリープ時間は60分に設定してください)。</p>
電源を切る	<p>動作中に電源ボタンを押す</p> <p>・液晶表示が消え、電源が切れます。</p>

CDを聴く

1 電源ボタンを押す

電源が入ります。

2 電源ボタンを押してCDモードにする

“Cd”表示が約2秒間点滅し“no Cd”が表示されます。

・CDを装着したままにしておいた場合、総曲数と総演奏時間が表示されます。

3 電源ボタンを押してCDふたを開け、印刷面を上にしてCDを入れる

4 CDふたを閉める

カチッ音がするまで押して、確実に開けてください。

“- - - -”が点滅しCDの読み込みが始まり、約5秒後に総曲数と総演奏時間が表示されます。

・CDが読み込まない場合は、“Err”と表示されます。本紙表面の「CDについて」をご参照ください。

5 電源ボタンを押す

▶が表示され、曲番1から再生が始まり、演奏中の曲番と経過時間が表示されます。

一時停止する	<p>再生中に一時停止ボタンを押す</p> <p>・もう一度電源ボタンを押すと、再生が始まります。</p>
停止する	<p>電源ボタンを押す</p> <p>・電源ボタンを押さなくても最終曲が終了すると停止します。</p> <p>CDを取り出すには：CDの回転が止まってから電源ボタンを押してください。</p>
早送り/早戻しする	<p>再生中または一時停止中に早送り/早戻しボタンを長押し</p> <p>・早送りボタンを押すたびに早送りになります。</p> <p>・早戻しボタンを押すたびに早戻しになります。</p>
頭出しをする	<p>再生中・一時停止中・停止中に早送り/早戻しボタンを押す</p> <p>・早送りボタンを押すごとに、1曲ずつ次の曲へ進みます。</p> <p>・早戻しボタンを押すと再生中の曲の頭に戻り、2回押すと前の曲へ戻ります。</p>

プログラム (曲順) の設定

お好みの曲を20曲まで選び、設定した曲順に再生することができます。

1 CD停止中に電源ボタンを押す

液晶表示部に“PRG”が点灯し、プログラム番号“P01”が点滅します。

2 “P01”が表示されている間に、早送り/早戻しボタンを押してプログラム設定をしたい曲番を選ぶ

・早送り/早戻しボタンを押すたびに曲番が変更されます。

・早送り/早戻しボタンを押すたびに曲番が変更されます。

・早送り/早戻しボタンを押すたびに曲番が変更されます。

・早送り/早戻しボタンを押すたびに曲番が変更されます。

・早送り/早戻しボタンを押すたびに曲番が変更されます。

3 電源ボタンを押し、決定する

“P01”が登録され、次のプログラム番号“P02”が点滅します。

4 引き続きプログラムを設定する場合は、手順2~3を繰り返す

最大20曲までプログラム設定できます。21曲以上登録しようとすると“FULL”と表示されます。

5 電源ボタンを押す

P01にプログラム設定した曲から再生が始まります。

・早送り/早戻しボタンを押すごとに次のプログラムに設定した曲の再生が始まり、曲番と再生経過時間が表示されます。

プログラム予約した曲番の確認をする	<p>CD停止中に電源ボタンを押す</p> <p>・電源ボタンを押すたびにプログラム予約した曲番が表示されます。</p>
プログラムした曲番を変更する	<p>CD停止中に早送り/早戻しボタンを押して、変更するプログラム番号を選び、電源ボタンを押す</p>
プログラム設定を取り消す	<p>他の機能モード (ラジオ・テープ) に切り替える</p> <p>・プログラムが取り消されます。</p> <p>・CDふたを開けても、プログラム設定を取り消すことができます。</p>

リピート再生

停止中や再生中に電源ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。

1 曲リピート再生 → 全曲リピート再生 → ランダム再生 → 解除 → 1 曲リピート再生…

1 曲リピート再生	電源ボタンを押す	1
全曲リピート再生	電源ボタンを2回押す	ALL
ランダム再生	電源ボタンを3回押す	RND
プログラムリピート再生	<p>プログラム再生中または一時停止中に電源ボタンを押す</p> <p>・電源ボタンを1回押すと、1曲のリピート再生となります。</p> <p>・電源ボタンを2回押すと、プログラム全曲のリピート再生となります。</p>	
リピート再生/ランダム再生の取消	リピート再生中に表示が消えるまで電源ボタンを押す	

ラジオを聴く

1 電源ボタンを押す

電源が入ります。

2 AM/FMボタンを押してラジオモードにする

FM放送またはAM放送を選びます。

3 スキップ/サーチボタンを押して放送局を選ぶ

長押ししてボタンから指を離すと、最初に受信した周波数で自動的に停止します (自動受信)。

再度ボタンを長押しすると、次の電波の強い放送局を探し、自動受信します。

自動受信中の受信ノイズ (雑音) で停止したときはもう一度長押しします。

・FMステレオ放送を受信した場合は、“ST”の表示が点灯します。

よりよい受信をするために

FM放送

アンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向に向けてください。

AM放送

本体の向きを変えてください。

FMステレオ放送の受信について

☑ステレオ放送を受信すると“ST”が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り換わり、“ST”表示は消えます。

☑AMステレオ放送には対応していません。

お好み選局機能

お好みの放送局をFM放送・AM放送ともに4局まで登録できます。

1 AM/FMボタンを押してFM放送またはAM放送を選ぶ

2 スキップ/サーチボタンを押してお好みの放送局を選ぶ

3 1~4のいずれかのボタンを選び、3秒以上長押しする

“PRG”が表示され、選択した“CH”番号が点滅し放送局が登録されます。

・登録完了後、3秒間点滅し、表示は点灯表示に変わります。

4 他の放送局を登録するときは、手順の1~3を繰り返す

外部音声機器を聴く

1 電源ボタンを押す

電源が入ります。

2 外部入力ボタンを押して外部入力モードにする

“LINE”が表示されます。

3 外部音声機器の音声出力端子 (イヤホン端子、ヘッドホン端子、ライン出力端子) を本機の外部入力端子へ接続する (接続コードは別売)

4 本機に接続した音声機器の音声を再生する

本機のスピーカーから音声が流れます。

お願い
 ☑携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーと接続するコードは、3.5φステレオミニプラグ接続コード (別売) を使用してください。

テープを聴く

1 電源ボタンを押す

電源が入ります。

2 電源ボタンを押してテープモードにする

再生する面を手前にして、テープが見える方を上にして入れます。

3 電源ボタンを押して、カセットふたを開け

カセットを入れる

再生する面を手前にして、テープが見える方を上にして入れます。

4 カセットふたを閉める

・カセットを取り出すとき：電源ボタンを押す

5 電源ボタンを押す

再生が始まります。

お知らせ
 ☑再生中にテープが全部巻き取られると、自動的に停止します。

一時停止する	<p>再生中に一時停止ボタンを押す</p> <p>・もう一度電源ボタンを押すと、再生が始まります。</p>	<p>電源ボタンを押す</p> <p>・もう一度電源ボタンを押すと、カセットふたが開きます。</p>
早送り/巻戻しする	<p>停止中に早送り/早戻しボタンを押す</p> <p>・止めたところで電源ボタンを押します。</p> <p>・テープを巻き終えたら電源ボタンを押してください。</p> <p>電源ボタンを押さないと電源ボタンが解除されません。</p>	

お願い

☑早送りまたは巻戻し中に電源ボタンを押さないでください。テープ巻つきの原因になります。

☑早送りまたは巻戻しでテープを巻き終えたら必ず電源ボタンを押して解除してください。

☑テープを再生・録音中は電源を切らないでください。電源を切る前に電源ボタンでテープ再生・録音を停止して下さい。

テープに録音する

1 電源ボタンを押す

電源が入ります。

2 電源ボタンを押して、カセットふたを開けカセットを入れる

録音する面を手前に、テープが見える方を上にして入れます。

3 カセットふたを閉める

録音を始めるテープ位置で停止させておきます。

4 ☑CDを録音するとき：電源ボタンを押してCDモードにして、CDを入れる

CDが読み込まれ、総曲数と総演奏時間が表示されます。

・総曲数と総演奏時間が表示されてから電源ボタンを押してください。

・希望の曲から録音したいときは、曲番を選びます。

・プログラム録音したい場合は、先に電源ボタンを押してプログラムの設定をしてください。

CDシンクロ録音について：

・CD停止状態中に電源ボタンを押すと、1曲目から自動再生し、録音されます。

・CD再生中に電源ボタンを押すと、その曲の先頭に戻り再生し、録音されます。

・CD一時停止中に電源ボタンを押すと、そこから録音が始まります。

☑ラジオを録音するとき：電源ボタンを押してラジオモードにして、放送を受信する

☑外部機器を録音するとき：電源ボタンを押して外部入力モードにして、外部機器を再生する

☑内蔵されたマイクで録音するとき：電源ボタンを押してテープモードにする

5 電源ボタンを深く押す

電源が入ります。

お知らせ

☑AMラジオを録音中にビート音 (「ピー」の音) が聞こえる場合、電源ボタンを押してください。受信状態により、ビート音の大きさが変わります。

録音の一時停止	<p>録音中に一時停止ボタンを押す</p> <p>・もう一度電源ボタンを押すと、再び録音が始まります。</p>	<p>録音中に電源ボタンを押す</p> <p>・もう一度電源ボタンを押すと、カセットふたが開きます。</p>
---------	---	--